

第 15 回ガイド実践入門「鎌倉」研修終了報告
2018 年 2 月 14 日（水） JGA 本部運営委員会

2 月 14 日（水）に昨年 2 月に続いて 2 回目となる鎌倉研修が実施されました。お天気も良く、かつ暖かい研修日となりました。当ガイド実践入門研修は 2 年前の 6 月から始まり、今回で 15 回目となり、半数が 2 回目から 10 回目参加というリピーターが多い研修です。今回、インフルエンザ等の影響でキャンセルされた方もおられましたが、熊本や大阪からの方も含め 30 名の方々にご参加頂きました。（会員 26 名、非会員 4 名：英語 28 名、仏語 1 名、西語 1 名）

まずは江ノ電で長谷駅まで移動。長谷駅から高德院までの間、乗田泰子講師による英語でのモデルガイディングで鎌倉の歴史や高德院の説明を聞きながら進みました。幸い、道もあまり混んでおらず、スムーズに高德院に到着。到着後、高德院境内のモデルガイディングを引き続き行い、浄土宗の教え、高德院及び大仏の歴史などを説明。その後、大仏の鑄造法や大仏の特徴を更に詳しく説明。大仏に向かって右側にある大藁草履や最近人気のある御朱印の場所も説明。そして大仏の右の頬に少しだけ残る金箔を確認しながら、スリランカ大統領碑やタイ王室記念樹の説明をし、約 30 分のモデルガイディングは終了。その後は五グループに分か



れ、各委員と共にモデルガイディングのルートを各自の登録言語でガイド実践に挑戦しました。外国語で説明するのは最初の内は慣れないものですが、皆さん自信を持ってガイディングされていました。そして何回か順番が回ってくるうちに一層スキルアップしていきました。その後、高德院から長谷駅経由鎌倉駅に戻り、若宮大路に向かい、二の鳥居前から鈴木真姫講師による英語でのモデルガイディングを実施。2016 年 3 月に改修整備された段葛を歩きながら鎌倉幕府の歴史や鶴岡八幡宮の歴史を説明。段葛は二の鳥居付近の幅



が 4.5 メートルで三の鳥居の付近が 2.7 メートルと狭く、鶴岡八幡宮を遠くに見せる為の遠近法が使われていることを説明。三の鳥居から鶴岡八幡宮の参道を歩き、源平池、旗上弁財天及び流鏑馬馬場の説明。そして舞殿の前で義経と静御前の悲劇の説明に聞き入りました。その後大銀杏跡の横の 60 段の階段を上り本殿の説明でモデルガイディングを終了。その後、舞殿まで戻り、再度五グループに分かれガイド実践を実施。既に何回かガイド実践している為、皆さん更に活発なガイディングとなり、かつ仲間のガイディングを聞くことで大いに刺激も受けた様子でした。最後に活発な質疑応答を行い、鎌倉でのガイド実践入門研修を終了しました。研修後の皆さんの自信に満ちた表情が印象的でした。